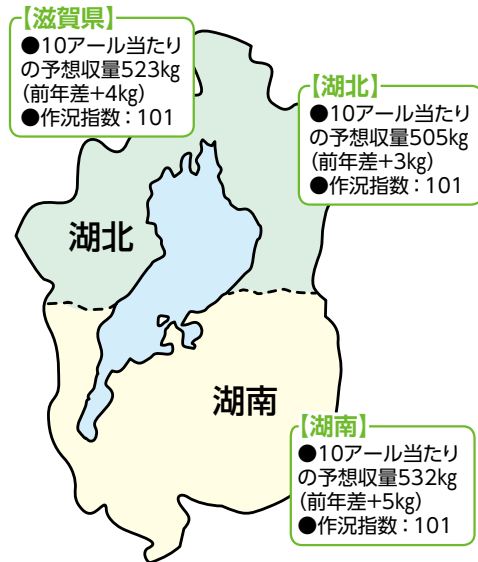


滋賀県の作況指数

令和4年産水稲の予想収量と作況指数(9月25日現在)が公表されました。滋賀県の予想収量は10aあたり523kg(前年産に比べ4kg増加)で、作況指数は101となり「**平年並み**」となる見込みです。

滋賀県の作況指数

(9月25日現在)



近年の湖北地域の作況指数

平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年
102	97	100	104	100	99	98	98	100

全国の作況指数は100で「平年並み」

天候に恵まれた北海道と西日本で生育が順調だった。一方、東北や九州で台風や日照不足の影響を受けた。

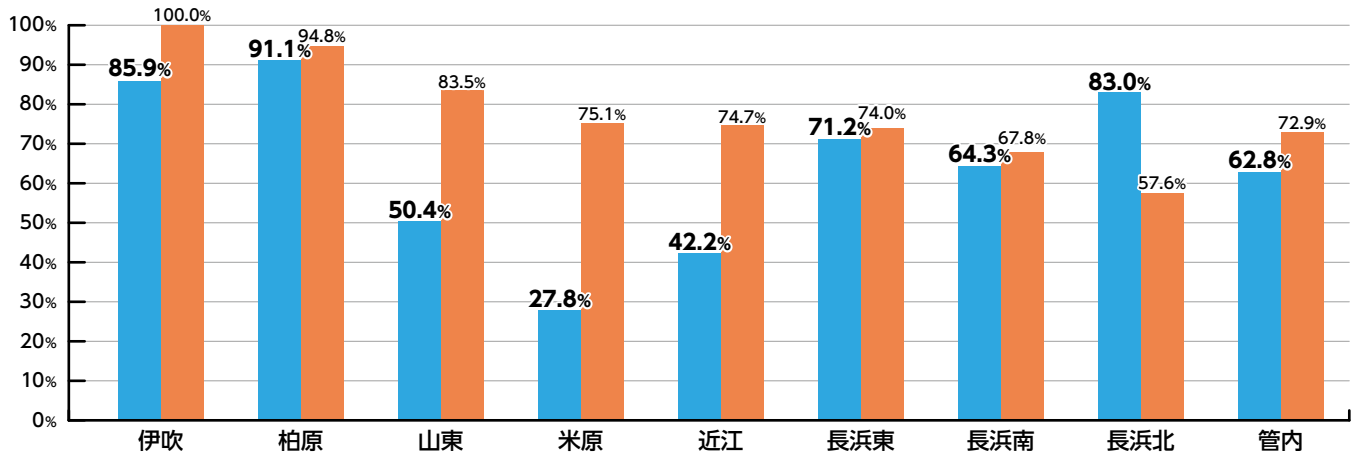
作柄概要

- 穂数は、田植期以降5月中旬の日照不足や6月中下旬の高温により分けつの切上がりが早まったこと等により、湖南では「やや少ない」となったものの、湖北で「平年並み」となったことから、滋賀県では「平年並み」となった。
- 出穂期以降の8月中下旬が日照不足で経過したものの、7月下旬～8月上旬が高温・多照であったこと、9月以降の気温が平年を上回って推移したことから、湖南、湖北ともに「平年並み」が見込まれる。

米検査状況(地場集荷分 9月29日現在)

地域別コシヒカリ1等比率

■令和4年 ■令和3年



2等以下の格付と主な要因(上位)

格付種類	種類解説	要因
他未熟粒 整粒不足	充実の不十分な粒で、玄米の厚みが薄く、縦溝が深い。歪みや変形したもの。	●籾数過多 ●登熟期の稲体の活力低下
乳白・心白	胚芽部分に白色不透明な部分がある。部分的にデンプン供給不足で発生	●登熟初期の高温・日照不足 ●籾数過多 ●登熟初期の稲体の活力低下
カメムシ 着色粒	カメムシによる吸汁被害 イネシンガレセンチュウによる被害粒	●畦畔雑草でのカメムシ類の増殖・適期防除の未実施 ●種子消毒(イネシンガレセンチュウ)

